

経営に資する知財人材の育成 会員の、会員による、会員のための知財研修

研修企画委員会を人材育成のメッカに！

1. 研修企画委員会の特色

知財人材育成に奮って参加を！

研修企画を通して委員自らが「知財人材」として成長しよう

研修会は講師(コンテンツ)と企画活動との協働こそが生命

実証検証のできる委員会

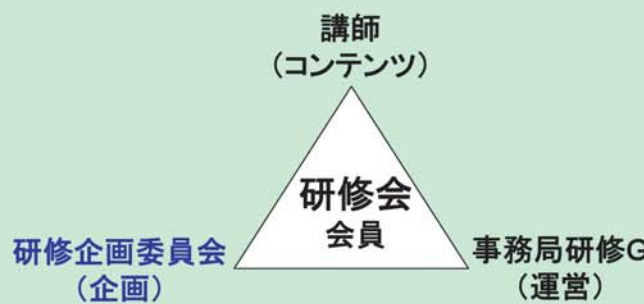


図1 研修会の構成

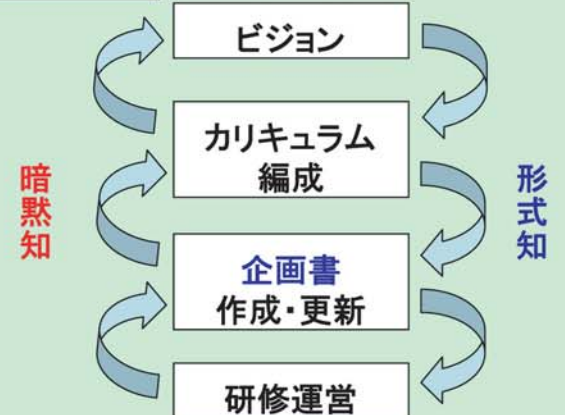


図2 企画と運営

2. 求められる知財人材(機能)

人材像に合致した研修企画の推進

- ・ 知財リーダー
- ・ 知財戦略スタッフ
- ・ 知財技術スタッフ
- ・ 事業・研究開発部門

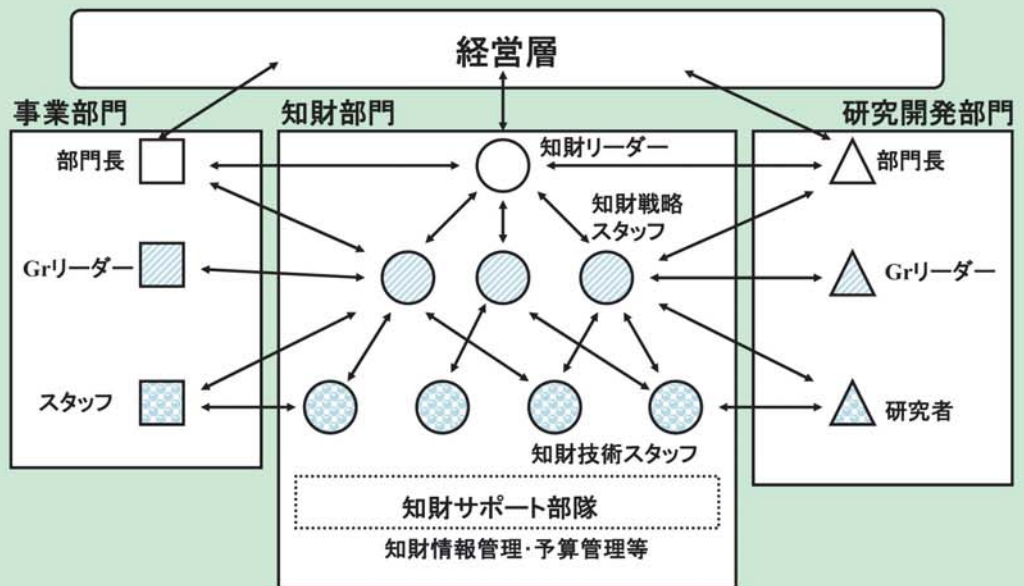


図3 組織における位置付

3. 研修コースの紹介

講師に斯界の権威者 約200名を迎え、全コースで17,000名以上が参加
世界に類のない規模

関東34コース
関西28コース
東海 5コース ほか



図4 研修コース

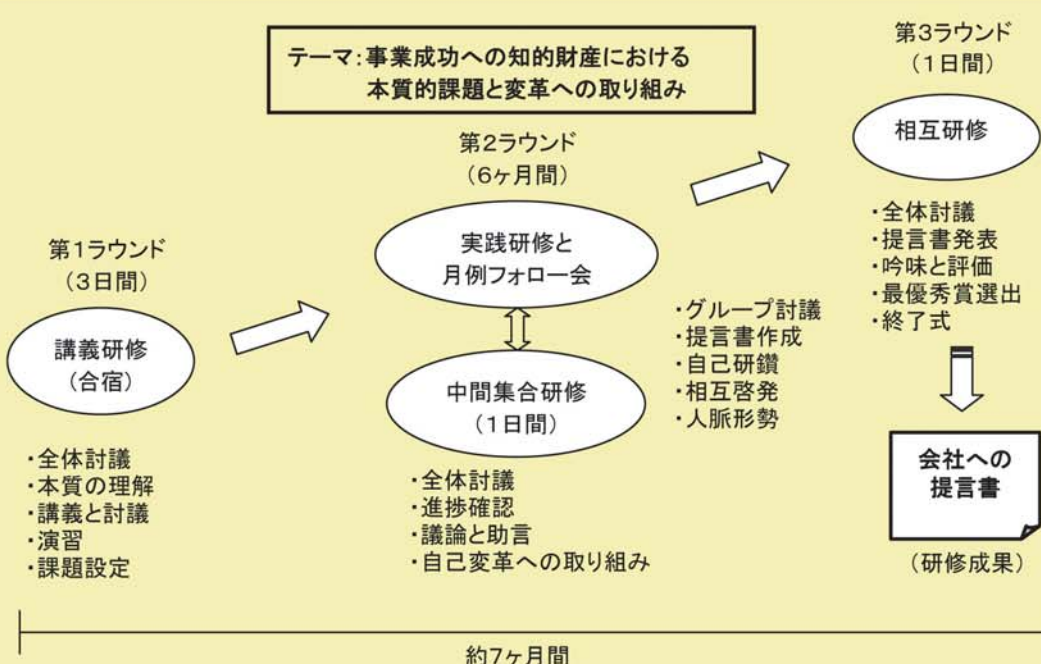


図5 特別コース:知財変革リーダー育成研修

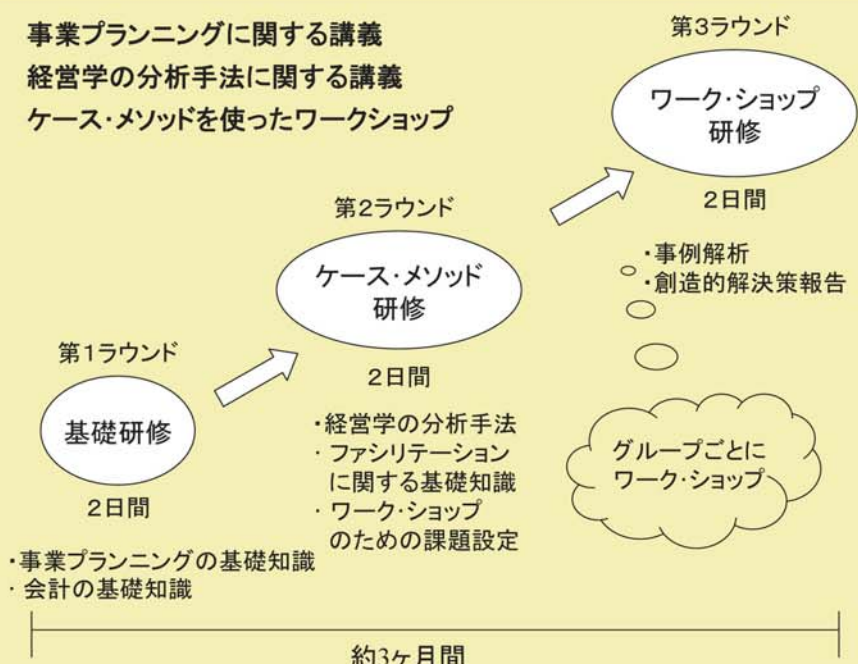


図6 特別コース:知財戦略スタッフ育成研修(新設予定)

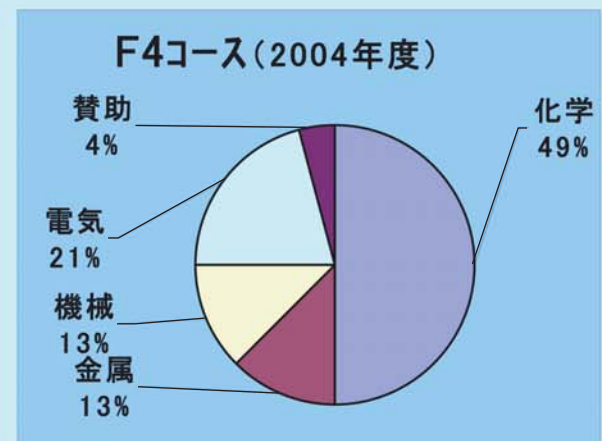
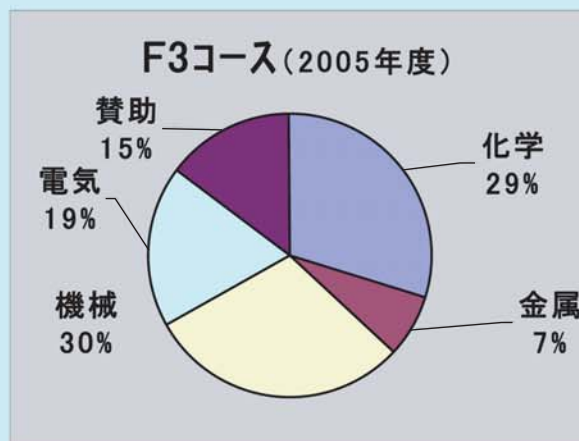
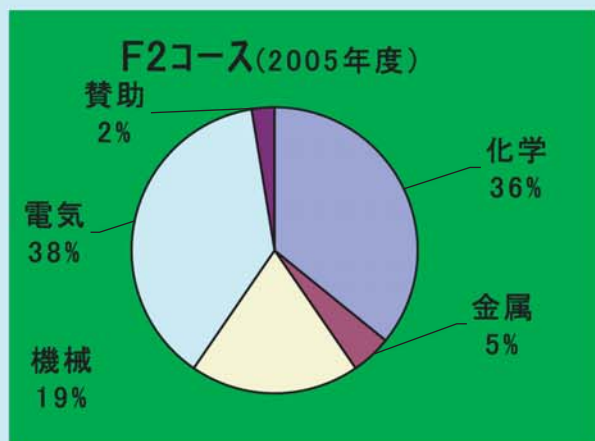
海外研修コンセプトの紹介

◆◆ 「海外知的財産権対応の人材育成への取組み」 ◆◆

対象者	地域	米国	欧州	中国	台湾	韓国	BRI(C)s
知財戦略スタッフ		F1 2週間		F3 2週間			(F6)
知財技術スタッフ		F2 4週間	F4 2週間	F5 2週間			

BRI(C)s: ブラジル、ロシア、インド、 (F6): 検討中

- 経営のグローバル化に対応できる知財人材の育成
- 国際的人脈形成の支援(産、官、学の人々との交流)
- 企業ニーズに対応したコース編成

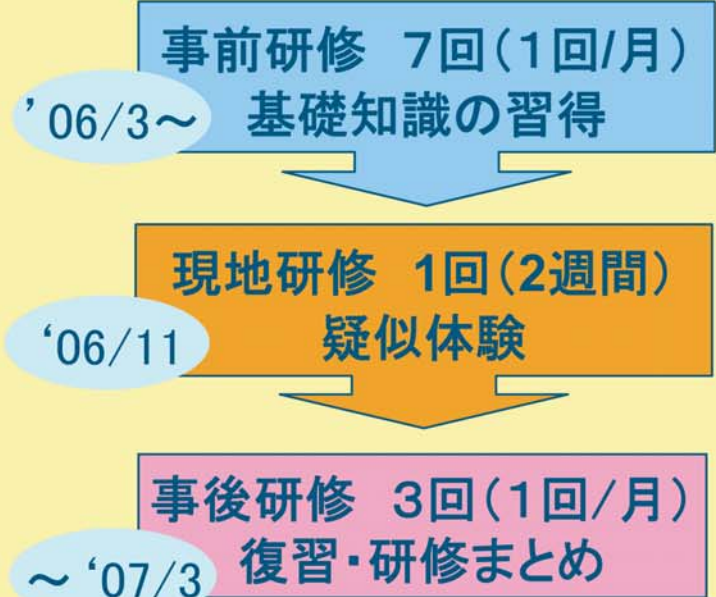


“新設”

◆◆ F5コース 中国滞在型 (2006年度実施予定) ◆◆

特徴

- 北京および上海に滞在
- 駐在員や中国の知財行政関係者との意見交換を実施
- テーマ学習方式を重視



◆◆ 第3WGの取組みとメリット ◆◆

- (1) 外国知財関連研修の新規企画立案・実施
- (2) 企業ニーズおよび時代の変化に合わせた研修内容の改編
- (3) 講師陣と連携による視野拡大
- (4) 研修企画の能力向上

★ 新委員 大歓迎 ★